

三本松 敬祐 外国語学部 中国語学科 2年

福島県私立石川高等学校出身  
2023.4 拓殖大学入学  
2024.9 交換留学(中国)参加



クラスでの様子

北方工業大学への留学を振り返って

【研修参加の動機について】

私がこの研修に参加しようと思った動機は、将来アジアで働くために中国は避けては通れない道だと思ったからです。七十数年で世界2位の経済力まで上り詰めた中国を自分の目で見てみたいと思ったのがこの研修に参加しようと思った一番の動機です。中国へ行く前に調べておいたほうがいいことですが、生活、ネット規制、決済文化、食文化の違いを事細かに調べておくとういと思います。日本で使えるSNSサービスが使えなかったり、食べるものが違ったりと調べておけばよかったとならないようにしましょう。ビザの申請も計画的に行ったほうがいいと思います。拓大で履修すべき科目については、「中国文化入門」、「中国事情」、「中国歴史入門」はしっかり履修しておいたほうが後々に立つと思います。

【学校生活について】

中国での学校生活についてですが、私たちは語学学生として授業を受けることになります。中国語の授業が主体のカリキュラムです。HSK 4級ほどであれば問題なく勉強できる状態です。ほかにも、今年度(2025年度)から新たに「現代中国理解」という授業が新設され中国の経済、物流、文化、思想について学ぶことができるようになりました。この授業は専門的な語句が頻出し難易度が高い授業ですが、新出単語を繰り返し復習すればつ

いていくことができます。自由時間が多いので単語を覚えたり友達と遊びに行ったりするのがいいと思います。研修先大学でしか学べないことは、国際交流です。留学先は中国ですが、私はこの留学で中国、ウズベキスタン、トルクメニスタン、パレスチナ、ロシア、バングラデシュ人の友達できました。私にとって一生モノの宝物です。イスラム教徒やキリスト教徒の人もいて、イスラムも風習である「ラマダン」に参加するなど貴重な経験をたくさんさせてもらいました。改めて行ってよかったと思います。

【研修を通して得たことと、その成果を今後の

学生生活や社会へどのように還元するか、について】

研修を通して中国のマナー・風習を深く知ることができました。さらに中国人の仕事スタイル(クライアントに対する姿勢や商談のスタイル)も見ることができました。いろんな国の人も友達になりました。これは社会に出て仕事で国際交流が必要になったときに大いに役に立つ経験になったと思います。物流や物販の分野ですでに働いている友達もいますからその人に助けを求めることだってできます。この留学を通してアジアだけでなく世界と自分の間の壁がなくなったように感じます。将来は語学の先生か世界を相手にするような場所で働きたいと思います。



友達との食事



ハルビン旅行の様子